



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和61年5月1日現在)

人口	21,595	(+46)
男	10,600	(+15)
女	10,995	(+31)
世帯数	6,633	(+38)
一人のうごき(4月中)		
転入	225人	転出 187人
出生	22人	死亡 14人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



292頭の乳牛が入牧

町営育成牧場への乳牛の入牧が5月21日に行われました。各農家によって運び込まれた292頭の乳牛は、予防接種や体重の測定を受けたあと広々とした草原に放され、のんびりと草をほおぼっていました。これらの乳牛、10月中旬の下牧までに1頭当たり平均100kgの体重増が見込まれています。

61年 **6**

No.413

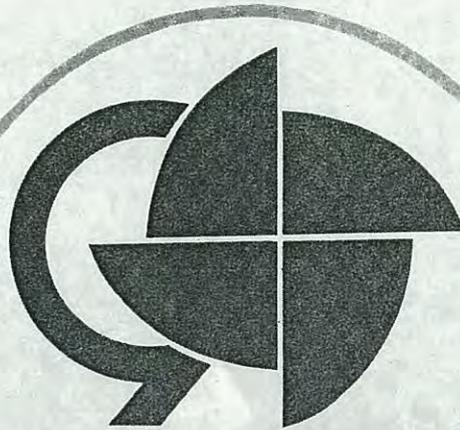
幕別町開基九十年記念事業実行委員会(木川拓二会長の第一回打合せ会議が五月二十六日、町民会館で各団体の代表者など四十人が出席して行われました。会議では副会長などの役員を選出したあと、事業内容の検討が行われました。メイン行事の六千人が参加して幕別と札内を手をつないで結ぶ交通安全キャンペーンは、八月三十一日に行われることが決定。ほかにも盛りだくさんの事業が予定されています。今月号では、主な事業の概要を紹介します。

遊びどころ
いつきに9キロ。
国道38号線、
幕別市街地と
札内市街地を
手に手をとって、
あれ、まだ、
あれツ…まだア…
と続く幕別っ子
六千人のながア
やったア
90秒の郷土愛。
こんな記録
ないだろうナア。

つながりデー

8月31日(日)

交通安全 キャンペーン



開基90年記念

毎週月曜日から金曜日までの昼十二時半からNHKラジオで全国放送されている「昼の散歩道」の番組の公開録音を幕別町で開催することに決定。予定日は九月十日。会場と出演する歌手二人は未定。NHKだからもちろん入場無料。ただし入場整理券が必要。詳しいことは、次号以降の本紙か「おしらせ」で紹介。

NHK「昼の散歩道」公開録音

【パークゴルフ大会】
幕別町が生んだ新スポーツパークゴルフ(旧称グラウンドゴルフ)。九十年にちなんで九十ホールをラウンドする大会は七月十三日に予定。



【健康まつり】

十一月二日、三日に場所は農業者トレーニングセンターで開催。健康に関することならなんでも揃っているのだ。メニュー盛りだくさん。



【町歌・町木の制定】

七月ごろから公募を開始して、選考委員会で公募を参考にして決定。発表は十月一日の開町記念日。

【小史の発行】

幕別町のこれまでの歩みをつづった小史を作成して、全戸に配布。発行予定日は、十

【テレホンカードの作成】

八月ごろに、開基九十年をデザインしたテレホンカードを作成し販売。

【十六日映画の作成】

開基百年にむけて今年から作成。もちろん八月三十一日は撮影させていただきま

核兵器の全廃で 平和な未来を

ソ連のチェルノブイリ原子力発電所の事故は、北半球全域に放射能をまき散らす、文字通り地球規模の大惨事となりました。事故による死者は最小限度にとどまりましたが、今後十年間ぐらいに白血病やガンなどの晩発性障害によって数万人から十数万人が死亡するのではないかとみられています。原子力の平和利用施設の事故でさえこの惨事ですから、原子力を軍事利用した、いわゆる核兵器が使用された場合の惨劇は想像を絶するものがあります。現在地球上には、人類を何度も消滅させるだけの核兵器が存在しています。それらの発射システムはコンピューターなどによって管理されています。コンピューターが故障した場合や、それらを操作する人間の誤認によって核兵器が誤射される可能性もあります。本町町議会で昨年、「幕別町平和非核宣言」の決議を採択しました。町民一人ひとりが核兵器の全面廃止を願い、平和な未来を子供たちに引き継ぎたいものです。

第2回芝桜まつり

第2回芝桜まつりが5月18日、明野ヶ丘公園で開かれました。当日は絶好の天気にも恵まれ、職場や公区の団体、家族連れなど約3000人の町民が繰り出しました。芝生の上ではあちこちに人の輪ができ、カラオケ大会や歌謡ショー、もちまきなどの催しにたくさんの歓声が上がっていました。



天候にも恵まれ3千人の人出でにぎわいました



芝生の上ではあちこちで「春」を満喫



公園内のコースで行われたサイクルモトクロス北海道選手権大会。道内各地から50選手が参加



大歓声の上がつた恒例行事の「もちまき」



カラオケ大会にはのど自慢が次々と登場

春の日はあつた



歌謡ショーに出演した3人の歌手。いずれも美人

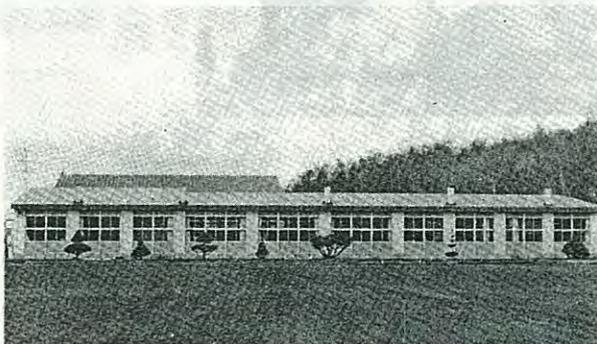


(3) 明野ヶ丘公園の一部オープン記念して林町長らによるテープカットが行われました

6月です。若葉の緑色が鮮やかな季節です。予算特集の2回目は「教育施設の整備」と「産業の振興」です。子供たちに快適な環境で勉強してもらうための施設整備や、地域経済の活性化を図るための事業などを紹介します。

教育施設の整備

舞小学校の増築工事を行います。工事内容は、音楽室を普通教室



増築工事が行われる古舞小学校校舎

糠内小学校に プールを建設 学校教育

▼糠内小学校にプールを建設
糠内地区の児童・生徒の健康の増進、体力の向上のために、糠内小学校に水泳プールを建設します。長さ二十五メートル、幅十一メートルの上屋をかけ雨天でも使用できるようにします。
約五千二百万円の事業費で、七月末に完成する予定です。
▼古舞小学校の増築
古舞小学校は現在三学級ですが、児童数の増加により、来年度から四学級になります。これに伴い古

に改修し、新たに音楽教室を増築するものです。全体で百八平方メートルの増築になります。事業費は約二百三十万円で。
▼スクールバスの運行委託料
学校統合(大豊小、西猿別小、豊岡小、新和中)による幕別小・中学校の遠距離通学児童・生徒のスクールバス(四路線、豊岡線、大豊線、新和線、新川線)を民間業者に委託しています。委託料は一千九百万円です。
▼教職員住宅譲渡代金

債務負担行為で建設した教職員住宅(昭和四十二年から五十九年までの建設分)の借入金返済しなければなりません。今年度の償還金額は六千九十三万円です。

▼学校および教職員住宅補修工事
学校施設の維持・補修や環境整備をします。また、教職員住宅の窓のアルミサッシや網戸の取り付けも年次計画で進めています。事業費は約二千二百万円です。

▼幕別町奨学資金
経済的な理由で修学困難な生徒のため、町が独自に設けた制度です。対象になるのは、町内に二年以上住んでいる保護者の子弟で、高校または国立専門学校に入学・在学中の生徒です。(但し、他の奨学に類する資金の支給、貸与のないかた)支給額は月額四千五百円です。

す。百八万円の予算です。

▼遠距離通学補助制度
小学生は片道四キロ以上、中学生は同じく六キロ以上の距離を通学する児童・生徒に補助をしています。予算額は六十四万円です。

▼就学援助制度
経済的理由で就学が困難な家庭や、一定の収入額以下の家庭の子さん(小・中学生)を対象に、学用品費や給食費、修学旅行費などを援助しています。援助する額は国で決められた額の範囲内です。
五月一日現在の認定(援助)者数は、四百七十七人(小学生二百七十五人、中学生百四十二人)で、援助率(総児童・生徒数に占める認定者数の割合)は十二・七%になっています。予算額は約二千四百万円です。

▼学校管理用予算
町内には小学校が十二校、中学校が四校あり、五月一日現在で三千二百七十一人の児童・生徒が勉強しています。燃料費や電気料、管理委託料など学校の施設を維持管理していくためのお金が学校管理用予算です。総額で約一億三千万円になります。

▼学校教育振興予算
各学校で教材や図書、クラブ用消耗品を購入したり、スケートリンクを造成するなど、施設の維持・管理以外に学校で使われるお金です。約一千四百万円の予算です。

就園費の補助で 負担を少なく 幼児教育

▼町立わかば幼稚園の管理・運営
人間形成の基礎を培う幼児教育は極めて重要です。幼児期における心身の発達を助長し、よりよい



君 橋本俊二 (糠内634-11歳)
ぼくたちの学校にプールができます。とてもうれしいです。今までは、年に何回かスクールバスで温水プールへ行くだけでした。ぼくはあまり泳げないので、今年の夏は先生に水泳を教わって、うまく泳げるようになりたいと思っています。



六月から開校する婦人短期大学に入學申し込みをしました。ちようど習いたいと思っていた書道と茶道がカリキュラムにあるので喜んでいきます。今年十月で閉校しますが、来年からは通年開校にしてほしいですね。

教育を進めるために、昭和五十三年に町立わかば幼稚園が開園しました。本年度は七十一人の園児が通園しています。施設の維持管理費や人件費などの予算額は一千九百八十七万円です。



秋の収穫を楽しみにして種イモを植える園児たち

▼私立幼稚園入園料・保育料補助

町内にある私立幼稚園に通うお子さんの保護者に対し、経済的負担の軽減と公立幼稚園との格差を是正するため、入園料(五千円)と保育料(月額五百円から三千円、所得により補助金が異なる)を補助します。予算額は百万円です。

▼幼稚園就園奨励費補助

私立・公立幼稚園に通うお子さんの保護者に対し、幼稚園設置者が保育料などを所得の状況に応じて減免する場合に、当該幼稚園へ補助します。(公立幼稚園の場合は保護者へ補助) 予算額は六百七十万円です。

婦人短期大学が
六月から開校

社会教育

▼社会教育関係団体への補助
社会教育活動を円滑に推進するために、町内には文化協会や婦人団体などさまざまな団体があります。それらの団体へ補助金を交付します。予算額は総額で二百四万円になります。

主な社会教育関係団体

名称	補助金等(千円)	構成員および組織
幕別町青年団体連絡協議会	290	3 連合会 86人
幕別町婦人団体連絡協議会	200	10 団体 1,830人
幕別町文化協会	350	56 団体 1,274人
幕別地域子ども会育成連絡協議会	320	34 団体 662人
札内地域子ども会育成連絡協議会	380	32 団体 1,405人
手づくりの町推進委員会	300	委 員 25人
町民芸術劇場実行委員会	200	委 員 23人

▼家庭教育学級

児童・生徒の両親を対象に開設しています。しつけ、性教育、両親の役割など親の知識や態度を

勉強します。開設学級は十学級を予定しています。
▼婦人短期大学
新規事業で、働く女性や家庭の主婦が広い視野を持つて、家庭づくりや地域で活躍していただくための学習をします。学習内容は、一般教養、趣味(七宝焼き、茶道、書道)、健康体操などです。六月から十月までの五カ月間に、町民会館と札内福祉センターで各二十回の講座が予定されています。

▼図書購入
町民会館と札内福祉センターにそれぞれ図書室があります。六十年程度の利用状況は、町民一人当たり約一・一冊の貸出数となっています。本年度も蔵書の充実を図るため、図書を購置します。予算額は百二十万円です。



多くの町民に利用されている図書室(町民会館)

▼高齢者学級(しらかば大学)

お年寄りが「生きがい」のある生活を送るための学習の場です。六

十五歳以上のかたが対象で、陶芸部、手芸部、園芸部などで六十二人が学んでいます。平均年齢は七十三歳です。四年間の課程を修了しますと大学院へ進級します。
▼学童保育所
家庭において何かの理由で保護を受けられない小学一・二年生を対象に、日曜日と祭日を除く毎日、午後一時から五時までお子さんをお預りしています。現在、町内三カ所で開設しています。保育料は月額四千円です。

ソフトボール場に
夜間照明を設置
社会体育

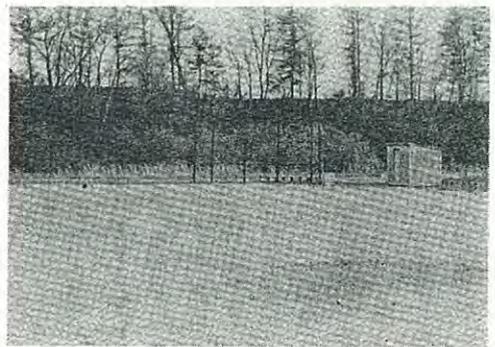
▼スポーツ教室の開設

広く町民にスポーツを普及するために、スポーツ教室を開設します。種目は水泳、体力づくり、スケートなどです。水泳は温水プール、体力づくりはトレセン、スケートは各学校のリンクで開催します。お気軽にどうぞ。予算額は二十二万円です。

▼ソフトボール場への夜間照明灯の設置

勤労者の方々が広くスポーツに親しめるように、運動公園のソフトボール場に夜間照明を設置します。約二千万円の事業費です。

▼農業者トレーニングセンターの管理・運営



夜間照明灯が設置されるソフトボール場

五十八年十月にオープンしたトレーニングセンターは、昨年度は延べ五万九千二百十人(一日平均百九十三人)の利用がありました。トレーニングルームには、さまざまなトレーニング機器があり、独りでも体力づくりができるようになっていきます。開館時間は、午前九時から午後九時までで、毎週火曜日が休館日になっています。トレーニングセンターの管理・運営にかかる本年度の予算額は一千百万円です。

▼社会体育関係団体への補助

十六団体が加盟している体育連盟に百万円、二十九団体が加盟しているスポーツ少年団体部に二十八万四千円の補助金を交付します。

▼スポーツ傷害見舞金の支給

スポーツ行事への参加者が負傷した場合に、一日につき五百円の見舞金を支給します。予算額は十

産業の振興

コンバイン 四台を導入



▼新地域農業生産総合振興対策事業

能率的な生産技術を導入し、地域全体の農業生産力の向上を図るための事業です。事業主体は幕別農協と札内農協です。幕別農協はコンバイン三台とブルドーザーなどを導入します。札内農協はコンバインを一台導入します。これにより小麦の適期収穫が行われます。事業費は総額で約一億三千万円で、国から四千六百万円の補助金が交付される見込みです。

▼道営土地改良事業

農業生産に適するように、耕地の改良、農用地の規模拡大、農村道路網の整備などの基礎的条件を整備するために、北海道が事業主体になって行います。町は事業費の二〇%前後の額を負担します。事業の内容によっては、受益農家も事業費の一部を負担します。

本年度は、総額で約十八億円の事業費で、そのうち町の負担額は三億九百万円です。

▼町・農協による農道・土地改良事業

町や農協が主体となつて行う土地改良事業です。本年度は町が事業主体となつて約四千万円の事業費で、二本の農道整備を行います。また、農協が主体になつて行う三本の農道整備に約六千万円が国から補助されます。

▼農村総合整備モデル事業

農村地帯の環境施設や生産基盤などの整備をするための事業です。昭和五十六年度から十カ年計画で進められています。本年度は途別三号線の改良(千八百三十メートル)を行います。事業費は一億二千六百万円です。

▼地域野菜生産団地育成事業(貸付金制度)

昭和五十三年度から町の単独事業として行われています。野菜生産農家(五戸以上で組織する集団)が、生産管理施設や機械を導入して作業の共同化、生産物の一元集荷などを実施する場合、五百万円(最高限度額)をお貸しいたします。これまでに、ホウレン草、ゴボウ、長ネギ、玉ネギ、長芋などの生産振興に貸し付けられています。貸し付け期間は五年間で、無利子となっています。予算額は五百万円

町牧の整備と 肉用牛の導入

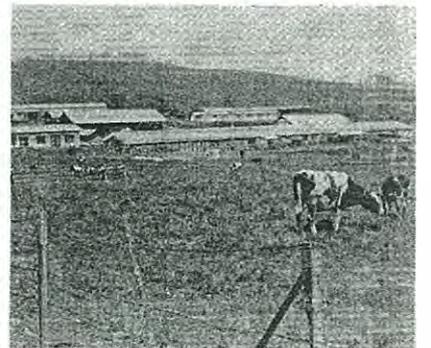


▼町営育成牧場の整備

町営育成牧場を酪農家の皆さんに有効に利用していただくために、五十八年度から施設整備を進めています。本年度は、二十畝の草地改良と隔障物(牧さく)の整備を行います。事業費は一千九百万円になります。

▼肉用牛の導入

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。貸し



5月に入牧が行われた町営育成牧場

町有林の造成と 民有林の振興



▼町有林の造成

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。貸し付け期間は五年間で、五年後に畜産農家へ譲り渡されます。畜産農家は満五年目に譲渡価格分を道農業開発公社に支払います。本年度は昭和五十六年度に導入した九十頭分の支払いをします。支払い額は四千四百三十八万円です。

本町の森林面積は八千八百九十三畝(六十年十一月現在)で、全町面積の二六%を占めています。町有林は一千二百二十畝あり、毎年造成事業を行っています。本年度は、昨年秋季に地ごしらえをした五畝にトドマツの植栽を行います。秋には三畝の地ごしらえを行います。事業費は一千八十八万円です。

▼町森林組合への補助

個人や会社などが所有している民有林は、七千三百四十三畝あり、本町の全森林面積の八三%を占めています。植栽、地ごしらえなど民有林振興の指導をしている森林組合へ、七十万円の補助金を交付しています。

▼除間伐推進事業

町の単独事業で、民有林の振興と造林意欲の向上を図るためのもので、カラマツやトドマツなどの成長のために行う、下草刈りや枝はらい、除間伐に対し、一畝当たり一万円の補助をしています。予算額は四十万円です。



まつだ そきちさん
松田 外吉 (古舞281・49歳)

昨年、近隣の農家十戸で古舞北野菜生産組合を組織して、町から野菜の生産振興の貸付金(五百万円)を借りました。おかげで長芋もゴボウも非常にいい出来でした。今年から返済が始まりますが、順調にいけそうです。



もりたに ひとみさん
森谷 ひとみ (札内桂町571・28歳)

産業まつりには毎年家族連れで行っています。催し物も多いですし、売店もたくさんあるので楽しみにしています。お目当てはカラオケ大会と野菜を買うことです。安いですからね。一日だけで終わってしまうのが、ちょっとさみしいですね。

地域経済の活性化を促進

商工業

▼特産品開発の研究活動補助

町では「一村一品運動」の推進として、特産品の開発、調査研究を行うグループ・個人に対して補助金を交付しています。補助金は一件につき五万円です。予算額は五十万円です。

▼町商工会への補助

商工会が行う経営改善普及事業（経営の合理化・改善、経理・金融技術の向上などの相談指導）や一般事業（総合振興対策、商業・工業振興対策、サービス業振興対策）

管理運営費などに一千五百二十万円の補助を行います。

▼中小企業への融資制度

町内にある中小企業の経営の合理化と設備の近代化のために、資金をお貸しします。対象となるのは、町内で同一事業を一年以上営んでいて、従業員数が五十人以下の会社または個人で、町税を完納していることが条件です。予算額は六千万円です。

観光協会による

各種事業の開催

観光開発

▼観光協会への補助

観光資源の調査・開発、地場産



やまだ かよこ
山田加代子さん (21歳)

糠内664

▼農業 ▲業

ボランティア活動に参加したいですね

短大を卒業してから農業を手伝って2年目になります。60頭の乳牛の世話をしていますが、飼料をやりに行くと牛がとても喜びます。かわいいですよ。

高校生の時は空手をやっていたんですが、今はお華とジャズダンスを習っています。週に一度ですが、楽しみにしています。もう少し時間があれば、障害児などへのボランティア活動に参加したいですね。

こんにちは

14



今年で9回目を迎える産業まつり(写真は昨年)

品の紹介・宣伝などを目的として昭和五十二年に観光協会が発足しました。「産業まつり」「物産キャンペーン」など多くの観光事業の計画および実施をしています。今年も十月五日に「産業まつり」を開催する予定です。観光協会に対する補助金は四百万円です。

▼国民宿舎幕別温泉ホテル

同ホテルは、昭和四十三年十二月に道内では最大規模の国民宿舎としてオープンしました。五十六年には周辺の環境と温泉の薬効が認められ、管内二カ所目の国民保養温泉地の指定を受けました。今年の二月には、宿泊、日帰り利用客通算三百万人を達成しました。ホテル周辺には温水プール、ふるさと館、野球場、テニスコートなどがあり、町民の憩いの場としても定着しています。幕別温泉ホテルのご利用をお待ちしています。

ふるさとへの便り… ③

楠 俊一さん (44歳)
(東京都立川市)



ふるさとの心が糧です

「仰げば尊しわが師の恩」幕別の全てがわが師に思われる昨今です。札内で生を受け十八年間過

ごしました。早いもので昭和三十九年に故郷を離れ、出稼ぎに出てから二十余年経ちましたが、心の糧としての故郷がいつも励ましてくれています。東京幕別会が発足して三年目になり毎年楽しみにしています。以前より白人会を有志でつくり、年一・二回集まって故郷のことを話し合っています。今後も幕別町が町のテーマである「生きる喜びを創造する町」として、我々「出稼ぎ」の心のよりどころとなりますよう、ますます発展されることを期待しています。

開基90年

あつちの場所 今昔

まくべつタイムトンネル ③

まくべつタイムトンネルの三回目は、糠内市街地の変遷を紹介します。



昭和41年ごろの糠内市街。道道幕別大樹線が舗装された直後です



現在の糠内市街。歩道や糠内小学校に上がる道路も整備されました



交通事故の恐ろしさを実感

幕別幼稚園(札幌市豊平区・辻田真一園長・園児117人)で5月22日、交通安全教室が行われました。正しい道路の横断の方法を学んだあと、ダミーを使った交通事故の実験も行われ、子供たちは事故の恐ろしさを実感したようでした。



南町老人クラブ(堀切武定会長)が、会員相互の融和団結をより一層強固にしようとして会旗を購入しました。会旗は八十万円もする立派なもので、中央に鶴の図と長寿の二文字がデザインされています。費用はすべてクラブ員からの寄付で賄われました。

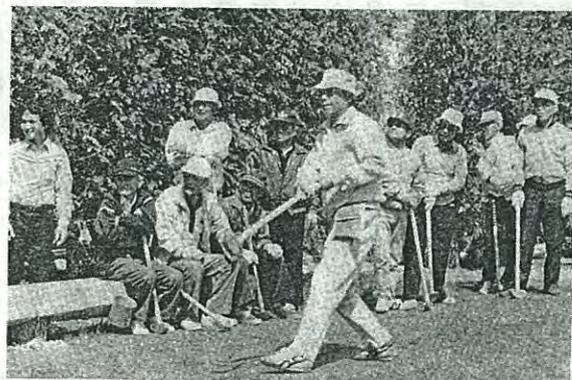
南町老人クラブに会旗



スクーターでも迫力満点



十勝管内では初の五〇ccスクーターレースが五月十八日、札幌内の帯北自動車教習所コースで約二十人の選手が出場して行われました。コースにはS字やクランクもあり、オートレースさながらの雰囲気で見物客を楽しませていました。



札幌パークゴルフ同好会(伊藤一男会長)の主催により、今シーズン初の大会が5月25日、白人公園コースで行われました。約50人の選手が参加し、1打1打に「ナイスショット」「ナイスバーディー」などの声飛び交っていました。

パークゴルフでさわやかな汗

町民みんなの関心事

良い子を育てるために③

町児童生徒健全育成推進委員会

善行賞を設定し

感心な行いを奨励

私たちが組織する町児童生徒健全育成推進委員会では、非行やいじめなどの子供たちの暗い面ばかりにスポットをあてるのではなく、明るい面や長所美点をとりあげ、大いに啓蒙をしようと考えました。ポスターや標語を町民の皆さんから募集したのも啓蒙活動の一つです。

今回ここでお知らせする「善行賞」の設定も、感心な行いをした個人や団体を顕彰し、奨励して明るい町を創ろうと考えたからにはほかなりません。

善行といっても、特別な場合や、めつたにしかすることができないようなことではなく、心がけ次第で努力すればだれにも出来るような行いを奨励したいと考えています。

例えば①地域の環境美化につくした児童・生徒②親切な心がけている人③奉仕活動をした人④その他多くの人が善行であると認めることができる行いであればいいのです。そういう児童

生徒を毎年一回表彰することによって、感心な行いをする子供たちが一人でも多くこの町にふえてくれれば、こんなに嬉しいことはありません。

皆さんの家庭の子供さんはいかがでしょうか。悪いことはしませんか。仮りに悪いことをしても反省し、親とした約束は守り、同じ悪いことを二度としないで



道路沿いのアキ缶を拾う子供たち

でしょうか。同時にほめることを心がけ、一人ひとりが明るい家庭、明るい社会を創るよう努力しましょう。

感心な行いをした子供さんをご存知の方は、町教委社会教育課へお知らせくださるようお願いいたします。

献眼運動にご協力を

昨年は二人が角膜を提供

「目の見えない人に愛の光を」
をスローガンに、ライオンズクラブが「一丸となって推進してきたのが献眼運動です。」

全国には目の見えない人が約二十五万人いますが、そのうち角膜移植によって開眼可能な人が約二万五千人いるといわれています。十勝管内でも約百五十人の方が角膜の提供を待っています。

本道では約一万人であり、幕別町でも百人の方が登録されています。一年間に登録者千人に一人の割合で角膜提供が行われています。幕別町でも、昨年十月十六日に道東では初めての献眼登録者(故勝山春代さん)の眼球摘出手術が行われて成功し、十二月十六日にも管内第二号の提供者(故石田勝市さん)も出て、目の不自由な四人が光を取り戻しました。

角膜は眼の「くろめ」の表面を被っている透明な膜で、病気がけがなどで傷ついたり白く濁ると見え

親者からの連絡があれば、すぐ医師がかけつけ眼球の摘出手術を行います。死後六時間以内が最も良いといわれています。摘出した遺体には義眼を装着しますので、外見からは全くわからない状態になります。

生命絶えて自らの肉体が土にかえる時、美しい愛が凝縮した二枚の薄い角膜が、二人の眼に生きます。この献眼こそ「無償の愛」そのものであり、献眼者は永遠に生き続けることができる「愛の奉仕者」でありましょう。皆さんのご協力

春の叙勲

幕別から二人が受章

勲五等双光旭日章

大石忠夫さん(七)

緑町十八

教育に四十六年

町政に八年

「小学校で子供たちと遊ん

勲七等青色桐葉章

戸田透さん(八)

本町二

保線一筋に

四十年間奮闘

「思いがけない受章でうれ



だことが楽しい思い出です」と話す大石さん。昭和四年



しいかぎりです」戸田さんは大正七年に十七歳で国鉄

から幕別小学校を皮切りに四十六年間教員生活を送り昭和五十年からは、町長として八年間、本町の発展に尽くしました。

相談に應じるのは前豊頃小学校長、石原利男さん(札内中央町・六十歳)と前同校教諭、吉田景子さん(緑町・五六歳)で二人とも教員生活三十年近くのベテランです。より気軽に相談できるように、相談員の自宅の電話が窓口になっています。

に入ってから、国鉄の縁の下で力持ちとして四十年間保線を担当してきました。「赤字ローカル線廃止で線路がはずされるのが、元国鉄マンとして非常に残念です。これも時代の流れでしょうか」と語っていました。

相談日は石原さん(☎56-3352)が火、金曜日、吉田さん(☎54-3388)が月、水曜日で。時間はいずれも午前十時から午後六時までです。また、電話相談とは別に毎月第三木曜日に面接相談を行います。六月は十九日に札内働く婦人の家で午後二時から四時まで開設されますのでお気軽にご利用ください。

心の窓

教育相談

お気軽にご利用を



吉田景子さん



石原利男さん

町教育委員会では、青少年の教育相談に應じるため今年の四月から相談員制度「心の窓」を設置しています。

新町民登場



おくだ やすなお 奥田 保直さん(62歳) 札内西町145

札内川の河川敷が 絶好の散歩コース

今年の三月に新得町の新居足から来ました。生まれも育ちも新得で、ちょうど六十二年いたことになりました。農業を営んでいました。

嫁ついだ娘が帯広にいてこととや妹が近くにいてことなどで、この地を第二の人生の故郷にすることにしました。市街地での生活に不安もありましたが、住んでみると思ったより住みやすいですね。近くの札内川の河川敷は絶好の散歩コースですし、温泉も近いのでよく利用しています。町内の農家の方とも顔見知りになりました。

土地を借りて野菜作りをしています。農業をやめても土いじりが日課になっています。高齢者就労センターに登録しましたが、もう少し仕事があればいいですね。

